

JSCA賞 奨励賞 奥野親正

山梨県立図書館 かいぶらり

YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

コンセプト

この建築は、甲府北口駅広場に面して建つ、新県立図書館であり、県民が気軽に接し、人と人が交流し合い、様々なメディアにより情報を伝えるだけでなく、甲府駅前の市街地活性化の役割もあわせ持っている。

「自然とともに生きる」ということをコンセプトのひとつとし、省エネ、省資源などの環境配慮はもちろん、いつも自然を身近に感じつつ、豊かな時を過せる緑のカーテンと青空に包まれた図書館としている。

建築には、豊かな自然と共生しつづける山梨の特徴を表す「葡萄藤、葡萄棚、舞鶴公園の石垣、ワインと葡萄、緑、水晶」をデザインとして取り入れている。

構造計画

葡萄藤、葡萄棚をイメージさせる西・南側壁面の幅状格子を屋根面へも展開させて建物全体を包み込む建築計画に対して、南北方向に9m毎に必要なハイサイドライト部分の高差を利用してトラス大梁を構成し、37mの東西方向スパンに架け渡した。トラス大梁の上・下弦材間を、上弦材となるH形鋼による面状の格子架構と、緩やかに弧を描く帯状の下弦材との組み合わせによる鉄骨トラス小梁で結びつけている。特に、帯状の下弦材は、細いロッド材やH形鋼などはせず、一見してプレートに見えるFBの組合せ材を用いて「構造としての既視感を消す」ことで、格子の視覚的イメージをより強調させている。

この構造らしからぬ柔らかさを持った帯状部材は、ハイサイドからの光の反射と拡散、スプリンクラー配管等の目隠し、空調ダクトの視覚的な制御に寄与しており、構造材としてだけでなく意匠と設備の役割も持つ環境調整部材として有効に機能している。

建物概要

所在地：山梨県甲府市北口二丁目2-8-1
建築主：山梨県
設計監理：久米設計・三宅建築設計事務所 共同企業体
施工：清水・早野組・国際建設共同企業体（建築）
主要用途：図書館
延床面積：10,851.84m²
規模等：地上4階、地下1階
高さ：19.591m
構造：SRC造一部、S造およびRC造

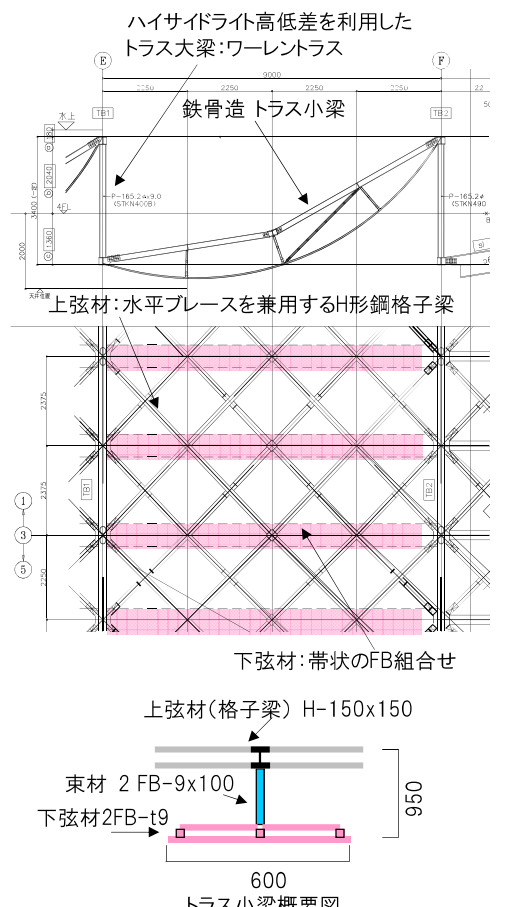


南側全景(駅前広場側)

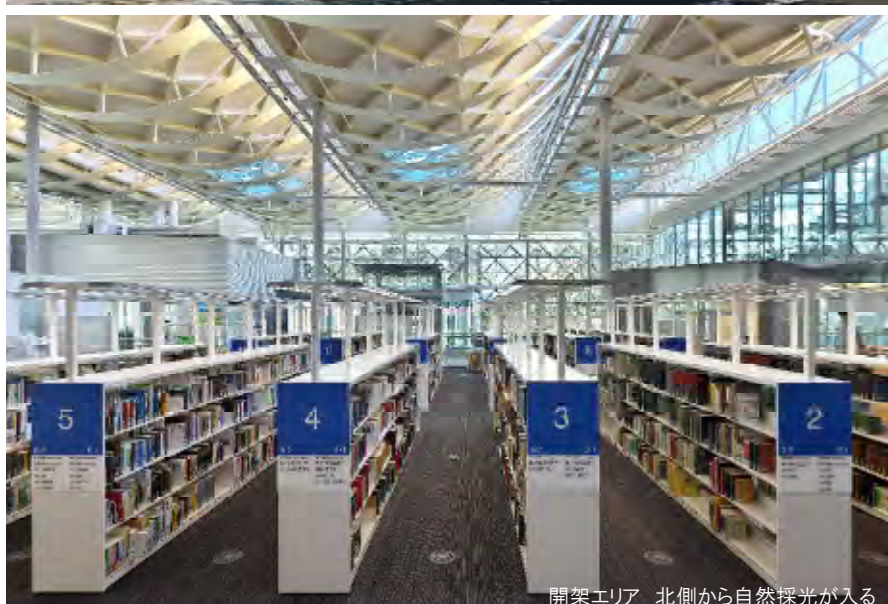


格子上弦材
FB組合せ束材
トラス大梁
帯状下弦材

格子と帯状部材からなる屋根架構



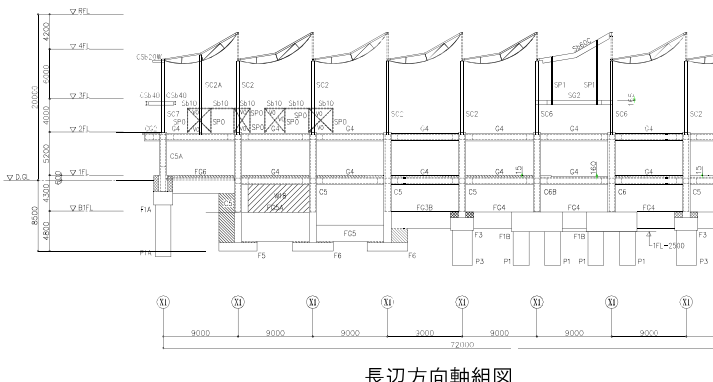
ハイサイドライト高低差を利用したトラス大梁:ワーレントラス
鉄骨造トラス小梁
上弦材:水平ブレースを兼用するH形鋼格子梁
下弦材:帯状のFB組合せ
上弦材(格子梁) H-150x150
束材 2FB-9x100
下弦材2FB-t9
600 トラス小梁概要図



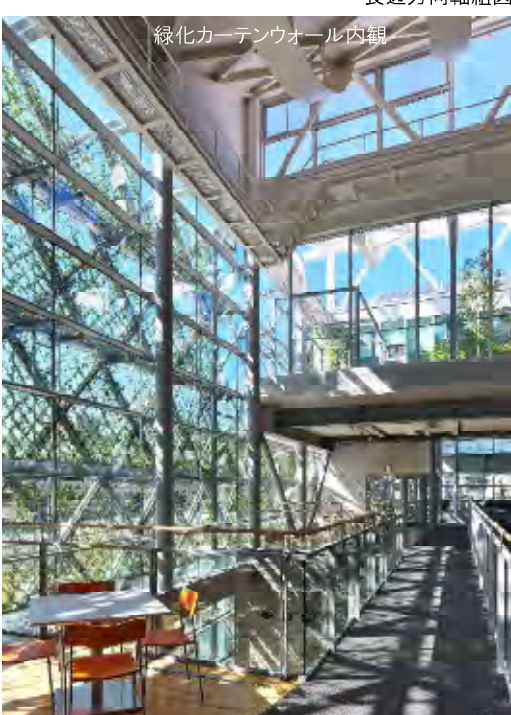
開架エリア 北側から自然採光が入る



開架エリアを見下ろす



長辺方向軸組図



緑化カーテンウォール内観



西側緑化カーテンウォール



帯状部材接合部
上弦材接合部
束材接合部
屋根モックアップ